

夢づくり、
安心づくり、
奈良づくり

奈良市議会議員
太田こうじ

市政報告
あをがき通信
Vol.17



奈良市議会3月定例会
第5次総合計画と共に
令和4年度予算が可決

平素より私の議会活動にご理解を賜り、ありがとうございます。

奈良市議会では、令和4年新年度予算を含む議案が3月定例会において3月3日より3月24日の間で審議されました。うち新年度一般会計予算については約1386億円となり、前年度と比べてほぼ同水準(0.2%減)の予算規模となりました。また市の最上位計画である第5次総合計画(10年間)が4年度から始まります。4月からはこれまで着手してきた大型事業がスタートします。1点目に長年の懸案であった奈良市斎苑・旅立ちの杜が横井町に、2点目に児童虐待等の増加に対応するため奈良市子どもセンターが柏木町にて運用開始されます。そして3点目に一条高等学校附属中学校が開校され、中高6年一貫教育の試みが始まります。いずれも大規模な市税を投入する事業となりますので、議会としても今後の取組については適宜チェックしていく必要があります。

また新型コロナウィルス感染症については、3月をピークに感染症の第5回目の波がいったん落ちていったようには見えますが、引き続きの警戒が必要です。奈良市においてもワクチン接種に関する追加接種(3回目)の情報等をみんだりや市ホームページ等で都度広報していますのでご確認を頂きますようお願いします。

今号では、私が3月定例会で一般質問させて頂いた内容や議会・市政情報等を中心ご紹介をさせて頂いております。

西部地区の文化財活用と観光新興の連携を

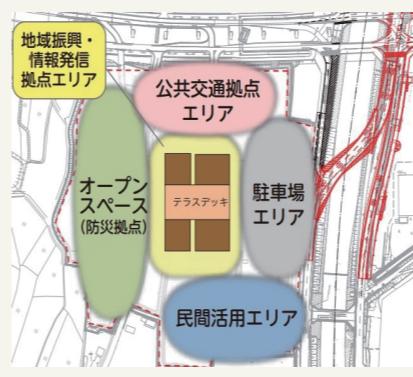
3月
定期会

◎菅原遺跡と喜光寺

元興寺文化財研究所は昨年5月、足立町4丁目の宅地造成地域で、行基僧の遺構とされる円形建物と大規模な回廊の跡(菅原遺跡)を発表し、全国報道で注目されました。県文化財保存課と事業者との間で折衝が行われましたが、現地保存は行われないことになりました。



菅原遺跡推定復元(多宝塔形式)
(元興寺文化財研究所資料より抜粋)



(仮称) 中町「道の駅」レイアウト図

◎富雄丸山古墳と道の駅中町

日本最大の造り出し付円墳(直径109m)の富雄丸山古墳では、令和4年が発掘調査計画の最終年度となります。市民による発掘体験事業も好評で、観光資源としても価値の高いコンテンツが期待されます。県では同古墳の東側に令和5年度中の利用開始に向け(仮称)道の駅中町の整備を進めています。国土交通省より防災道の駅として選定されたほか、第二阪奈道路中町インターチェンジの結節点の好立地にあります。奈良市は西部地区のゲートウェイとして同道の駅を位置づけており、丸山古墳にも足を運んでいただけるような観光案内ブースを予定しています。私からは県市連携のもと文化財・観光の両面で推進をいただくよう議会にて意見致しました。



○お聞かせください。

奈良市政についての疑問や意見をお聞かせください。また地域の集まり等でご依頼を頂ければ太田こうじが出張し、市政報告をさせて頂きます。市民の皆さまの声が議会活動の原点です。

○経歴

昭和54年(1979年)奈良市生まれ。市立あやめ池小学校卒、大阪明星中学・高等学校卒。関西学院大学法学部卒。
2013年7月奈良市議会議員選挙に初当選(現在3期目)。
自民党奈良市議会・結の会に所属、自由民主党奈良県第一選挙区支部青年局長
観光文教委員会委員、広報広聴委員会委員長、奈良国際文化観光都市建設審議会委員。

太田こうじ
ホームページにて日々の活動を発信中!
<https://www.otakoji.net>
<https://ameblo.jp/otakoji-nara>

